

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	DC エクステンション	科 目 名	着彩技法	科目コード	S3508A1
配 当 期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単 位 数	2 単位
担当教員名	野田 知哉	履修グループ	選択	授業方法	演習
実務経験の内容	グラフィックデザイナーとして広告デザイン業界のデザイン制作会社にて10年間、その後フリーランスとして15年の25年間、実務に携わった経験を活かして、グラフィックデザインに必要な、基礎描写、レイアウト、配色、画材の扱いといった、描画着彩の技法について実践的に講義する。				
学習一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ画材を使った表現の基礎的な方法・技法・原理に対する理解を深める。 ・色彩効果について理解し、視覚伝達における訴求を踏まえた描画ができる。 ・アナログ画材の制作手法について理解し、効果的なイラスト制作ができる 				
授業の概要 および学習上の助言	アナログ画材（透明水彩絵の具、ポスターカラー、色鉛筆）を使用した、描画実習を行う。 デジタルイラスト制作における、手書き風描画のコツを掴むことが目的なので、絵具の扱いに慣れること。色彩に関する知識、配色の理論を理解し描画に活かすこと。				
教科書および参考書	「プロとして恥ずかしくない 新デザインの大原則」（MDN）。配色カード199b				
履修に必要な予備知識や技能	日常目に触れる、絵画やイラストに対し日ごろから興味を持って接すること。 課題テーマに関わる資料等を、各自で日ごろから収集するなどアナログ画材に対する関心を持つこと。				
使用機器	デザイン教室				
使用ソフト					
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	画材・素材について理解し、表現に合わせて適切な画材選びを行うことができる。			
	1	配色について理解し視覚的なメッセージを、作品を通して伝えることができる。			
	1	アナログ画材の特性や扱い方を理解し、イラスト作品として表現できる。			
	5	講義と課題実習に、意欲を持って取り組むことができる。			

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	【色相、明度、彩度】 色彩論①『色相環』『トーン』 課題「トーンを意識した配色」	講義と実技	教科書P92~95
第2週 /	【対比】 色彩論②『色相対比』『明度対比』 課題「対比を使った配色」	講義と実技	教科書P96~99
第3週 /	【色彩心理】 色彩論③『色彩の心理効果』 課題「派手・地味」	講義と実技	教科書P96~99
第4週 /	【配色計画】 色彩論④『トーンを意識した配色』 課題「ドミナントトーン配色」	講義と実技	教科書P102~103
第5週 /	【配色計画】 色彩論⑤『色相とトーンを意識した配色』 課題「ビコロール・トリコロール配色」	講義と実技	教科書P105
第6週 /	【配色計画】 色彩論⑥『自然界に学んだ配色』 課題「ナチュラルハーモニー配色」	講義と実技	教科書P104
第7週 /	【配色計画】 色彩論⑦『目的別カラーデザイン』 課題「女性的・男性的配色」	講義と実技	教科書P108~111
第8週 /	【配色まとめ】 試験課題) 色彩構成 (幾何学的な構成)	講義と実技	この課題を中間テストとします。
第9週 /	【描画技法・ポスターカラー】 練習課題) 黒バックからの描画 (トレース)	講義と実技	課題内容が残った場合は宿題
第10週 /	【描画技法・ポスターカラー】 練習課題) 黒バックからの描画 (描画・仕上げ)	講義と実技	課題内容が残った場合は宿題
第11週 /	【描画技法・透明水彩】 練習課題) バラの模写 (トレース)	講義と実技	課題内容が残った場合は宿題
第12週 /	【描画技法・透明水彩】 練習課題) バラの模写 (描画・仕上げ)	講義と実技	課題内容が残った場合は宿題
第13週 /	【描画技法・色鉛筆】 練習課題) 顔の模写 (トレース)	講義と実技	課題内容が残った場合は宿題
第14週 /	【描画技法・色鉛筆】 練習課題) 顔の模写 (描画・仕上げ)	講義と実技	課題内容が残った場合は宿題